

今日まで（HP Primeファームウェアバージョン14730に適用）、グラフィックモードでテキストを表示するためのPPL言語で唯一の組み込みコマンドはTEXTOUT_Pです。しかし、これはテキストの書式設定能力が非常に限られているため、フォントサイズやフォントカラーの変更、指定した色の背景のみが可能です。この領域でPPL言語の機能を強化するために、“Custom Text Formatting”ライブラリが開発され、さらに多くのテキスト書式オプションを適用できます。現在、このライブラリは以下の書式オプションを適用できます：フォントサイズ、テキストカラー、背景カラー、取り消し線、下線、フレーム、イタリック、太字、浮出、半透明度。

利用可能な2つのコマンドがあります：ATEXTOUT_P と ATEXTSIZE。

ATEXTOUT_P - 標準のTEXTOUT_Pコマンドの高度なバージョンで、追加の書式でテキストを表示できます。

ATEXTOUT_Pコマンドの設計はTEXTOUT_Pコマンドとの互換性を保持するように行われています。つまり、これは現在のTEXTOUT_Pコマンドを使用しているすべてのプログラムに簡単に適用できます。したがって、コマンドを呼び出す際には、プレフィックス“A”を追加し、必要なテキスト書式化パラメータを追加するだけです。

構文:
ATEXTOUT_P(テキスト, [G], x, y, [フォントサイズ], [テキストカラー], [書式], [alpha], [幅], [背景カラー])
ここで:
テキスト - 表示する文字列
G - GROB (デフォルトG0)
x - x座標
y - y座標
フォントサイズ - フォントサイズ (0 - 7、デフォルトは0 - 現在のホーム設定)
テキストカラー - カラー (デフォルトは0 - ブラック)
書式 - 書式設定属性 (フラグ: 1 - 取り消し線、2 - 下線、4 - フレーム、8 - イタリック、16 - 太字、32 - 浮出)
alpha - 透明度のアルファチャンネル (0 - 255、デフォルトは0 - 不透明、255 - 完全透明)
幅 - 幅制限 (デフォルトはすべてのテキスト、最大= 511ピクセル)
背景カラー - 背景カラー (デフォルトは背景なし)。

例:
ATEXTOUT_P("私のテキスト",20,20,5,255,24);
斜体太字で、フォントサイズ5、位置20,20にテキストを描画します。

ATEXTOUT_P("私のテキスト",30,40,7,#FFh,4,128,200,#BBBBBBh);
位置30,40に灰色の背景の枠内に半透明（レベル128）の青色のテキストを描画します。

ATEXTSIZE - テキストのサイズ（幅と高さ）を返します（TEXTSIZEの代わりに）、計算に書式設定属性が影響することを考慮します。

構文:
ATEXTSIZE(テキスト, フォントサイズ, 書式)

ここで:
テキスト - 測定する文字列
フォントサイズ - フォントサイズ
書式 - 書式設定属性 (ATEXTOUT_Pの '書式' パラメータに対応するフラグ値)

例:
ATEXTSIZE("私のテキスト",7,16);
斜体太字、フォントサイズ7の"My text"の幅と高さを返します。